

共通取扱説明書



この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買上げ頂き
まことにありがとうございます。
ベッドを安全に御利用頂くために、本書を良くお読み下さい。
次に、ベッドを正しく組立てるために、内容を良く理解して
から必ず指示に従って組立ててください。

組立てた後も取扱説明書は大切に保管して下さい。

もくじ

安全上・使用上の御注意.....P1

ニューベスティー・リバティベッドシリーズをお買い上げ、
又はレンタルされているお客様（品番の始まりが CYB 又は CRB の製品）

- パッケージ内容 P3
- 組立て方 P4 ~ 8
- 各部の名称 P9

サイドレール・ベッド用グリップの取り付け及び適合するマットレスについて
..... P10 ~ 12

連動切替金具について（共通事項）..... P13

故障及び停電時の処置方法（共通事項）..... P13

保守点検について（共通事項）..... P14

修理を依頼する前に（共通事項）..... P14

営業所..... P15

安全上・使用上の御注意

この取扱説明書をお読みになる上で、安全上守らなければならない内容や、注意する必要がある内容をシンボルマークとともに表示してあります。良くお読みになり、正しくご使用下さい。

取扱説明書中では、安全注意事項のランクを『警告』と『注意』の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要内容ですので、必ず守って下さい。



警告

取扱を誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱を誤ると、人に傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

使用前の御注意

- ベッドは動作チェックを行ってから使用して下さい。
- ベッドからの転落を防ぐため、サイドレールの設置をお勧めします。（利用者が転落する恐れがある場合は、必ずサイドレールを設置して下さい。）
- 治療中の方は担当医に相談してからベッドを使用して下さい。
- 最大使用者体重を守って下さい。



警告

- ベッドの近くにストーブ等の熱機具を置かないで下さい。火災や変質、変型の原因になります。
- ベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になります。
- ベッドの上で飛び跳ねたり、不用意に立上ったりしないで下さい。転倒し、怪我をしたりベッドが破損する可能性があります。
- ベッドの設置場所の上部に不安定な物を置かないで下さい。地震等の際に落下して怪我をする可能性があります。
- 運転中はベッドの可動部に近寄ったり、触ったりしないで下さい。挟まれたり巻き込まれたりして怪我をする可能性があります。
- 製品の分解や改造は、絶対にしないで下さい。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- ベッドの下に潜り込んだり、頭・手・脚等を入れないで下さい。可動部分に挟まれて怪我をする恐れがあります。
- ベッドの上に二人以上乗って使用しないで下さい。ベッドが破損する可能性があります。
- 12才以下の子供や自分で適切に操作できない人には、一人では操作させないようにして下さい。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- サイドレールアダプターを設置した後、ノブが堅く締めてあるか確認をしてからベッドを使用して下さい。ノブが弛んでいるとサイドレールアダプターが外れて怪我をする場合があります。
- サイドレールを取付けて使用する際は、サイドレールの隙間に頭・手・脚等が入り込まないように十分御注意下さい。特にベッド上で予測不可の行動を取る方。御自分で体を自由に動かす事が出来ない方は細心の注意を払って使用して下さい。生命に関わる事故を起こす可能性があります。
- サイドレールを取付けて使用する際は、サイドレールの隙間から頭・手・脚等を出したままベッドを操作しないでください。
- ベッドの高さを変える際は介護者の脚がベッドの下に入り込んでいないか確認してから行って下さい。
- 背・膝を上げたままボトムの上に腰をかけたりしないで下さい。



注意

- ベッドの周辺には危険物を置かないで下さい。ベッドから落下した時怪我をする可能性があります。
- ベッドの移動は必ず二人以上で行って下さい。引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。
- ベッドの下に物を置かないで下さい。ベッド操作時に部品が干渉し故障の原因になります。
- 平らな場所に設置して下さい。ガタつきや異常音など故障の原因になります。
- 故障や異常に気が付いたら即座に使用を中止して下さい。そのまま使用すると故障の原因になります。
- 電源コードはベッドで踏んだり他の物で挟んだりしないで下さい。
- 背上げ、膝上げの状態でボトムに腰掛けしないで下さい。故障する恐れがあります。
- 指定製品以外での組合せはしないで下さい。事故や故障の原因になります。
- ベッド本体やボトムにヒモなどを縛ったままベッドを操作しないで下さい。
- ベッドは電動操作で動きます。背・膝上げ操作においてベッドが動くにつれ高さ寸法が増していくので、ベッド周辺の家具および構造物の一部に当たらないようにして下さい。

●手元スイッチ：TYPE-A

背あげ



手元スイッチ操作ボタン



背ボトムを調整します。
(水平から最大75度)

ポイント
ベッドから起き上がるときに使用します。
ベッドで食事や読書をするときに使用します。

背あげ膝連動



手元スイッチ操作ボタン



背ボトムに連動して膝ボトムがあがります。

ポイント
背ボトムは水平から最大 75 度、膝ボトムは最大 20 度まであります。

切替レバーで背あげのみと、連動の切替ができます。

**膝あげ
2モーター仕様**



手元スイッチ操作ボタン



膝ボトムを調整します。
水平から最大 40 度まで上げることができます。

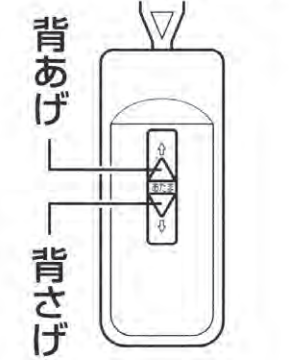
ポイント
背あげを行う場合、先に膝ボトムをあげておくと体全体がかかと側にずれることを防ぎます。

●手元スイッチ：TYPE-B

背あげ



手元スイッチ操作ボタン



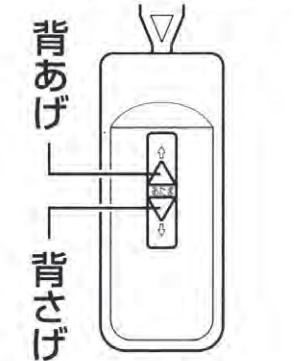
背ボトムを調整します。
(水平から最大75度)

ポイント
ベッドから起き上がるときに使用します。
ベッドで食事や読書をするときに使用します。

背あげ膝連動



手元スイッチ操作ボタン



背ボトムに連動して膝ボトムがあがります。

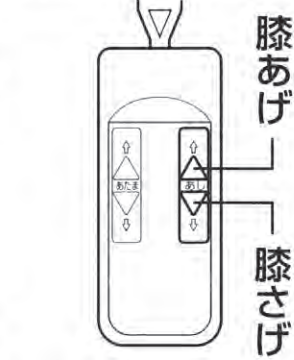
ポイント
背ボトムは水平から最大 75 度、膝ボトムは最大 20 度まであります。

切替レバーで背あげのみと、連動の切替ができます。

**膝あげ
2モーター仕様**



手元スイッチ操作ボタン

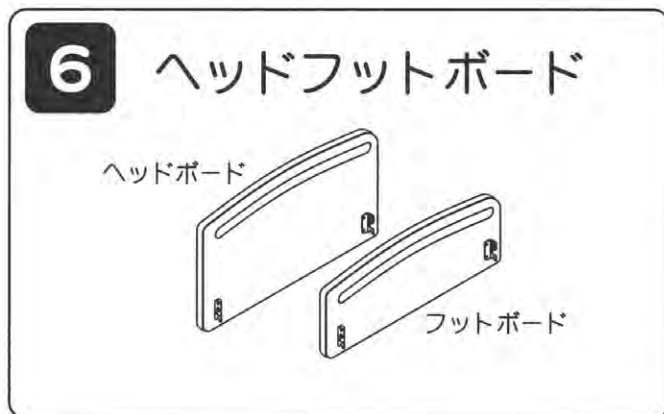
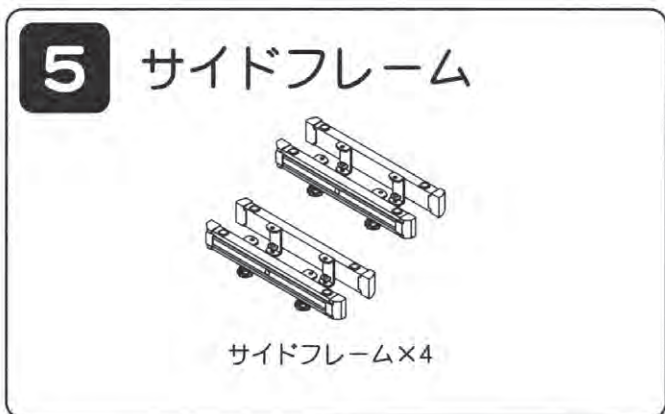
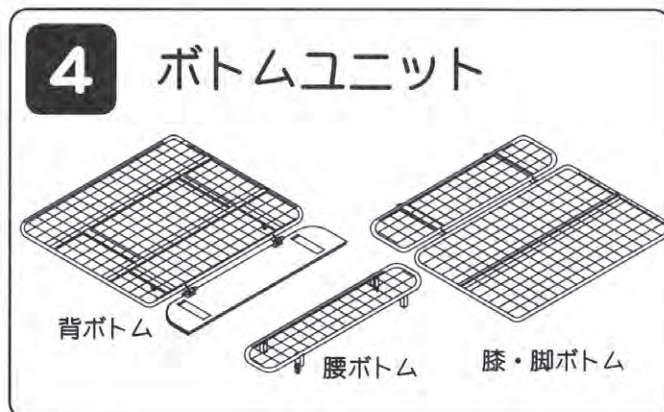
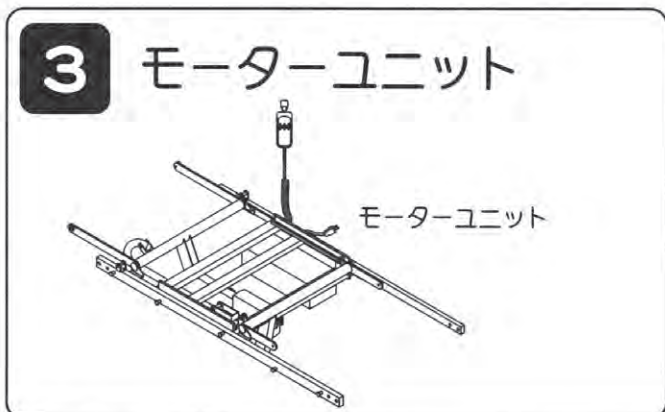
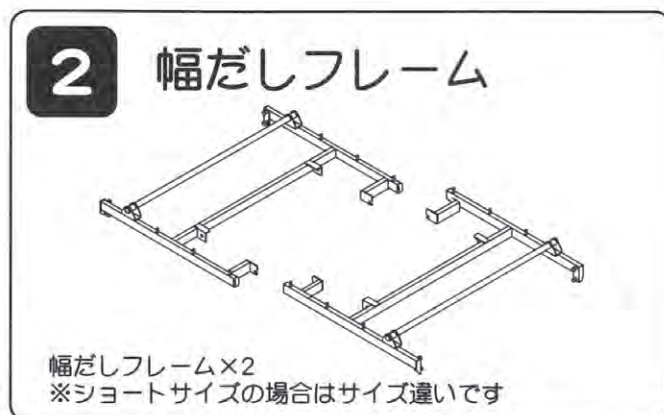
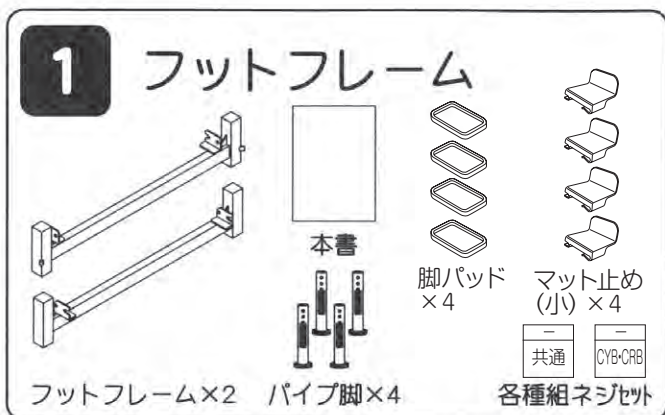


膝ボトムを調整します。
水平から最大 40 度まで上げることができます。

ポイント
背あげを行う場合、先に膝ボトムをあげておくと体全体がかかと側にずれることを防ぎます。

ニューベスティ・リバティベッドシリーズを お買上げ、又はレンタルされているお客様

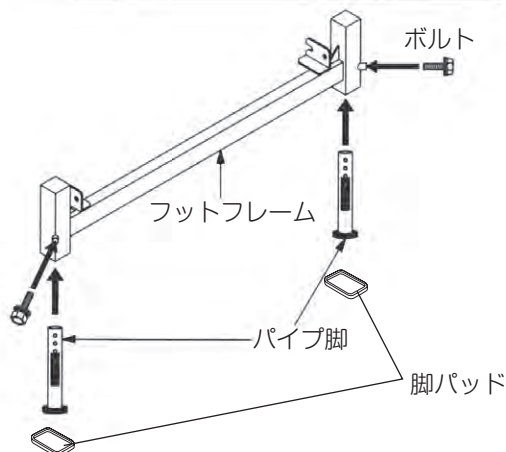
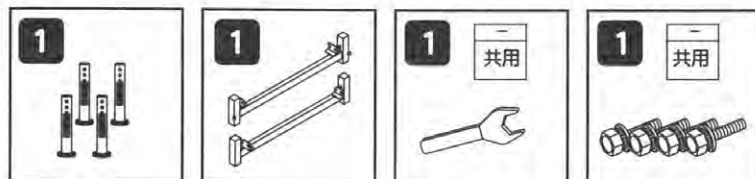
ベッドを組上げる前に以下の部品が全て揃っているか御確認下さい。確認する際は、部品を各パッケージごとに分けておくと組立の際便利です。



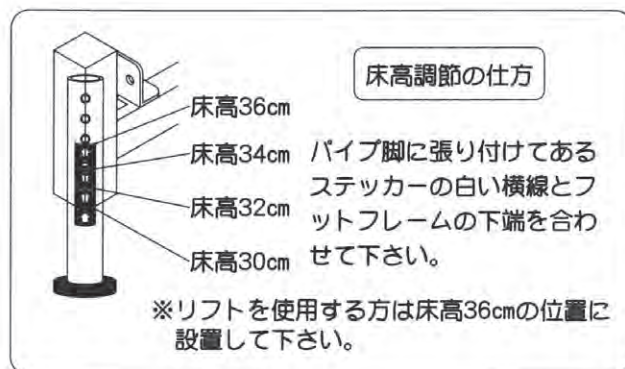
ベッドの組立て

ここからベッドを組立てて行きます。必ず設置場所で組立ててください。

順序1：パイプ脚とフットフレームを取付けます



フットフレームにパイプ脚を差し込み、床高を調節してからボルトで止めます。



畳やじゅうたんなどの上で長期ご使用の場合は、脚座またはキャスターの下に付属の脚パッドを敷いてください。ゆかのへこみ、キズつきを軽減することができます。

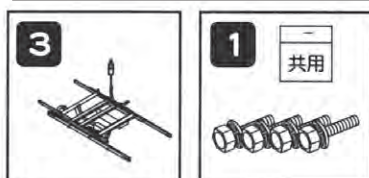
⚠ 注意

塩化ビニル系のゆかでの使用はやめてください。ゆか材にパッドの色が移り、ゆかを汚す可能性があります。

⚠ 警告

- 脚座ゴムシートの表面は必ず拭いてください。そのまま使用すると、ベッドに寄りかかったり乗り降りする際にベッドが滑って、思わぬけがをするおそれがあります。
- 脚座ゴムシートが確実に設置され、ベッドが安定していることを確認してください。安定しない状態で使用すると、思わぬけがや破損の原因となります。

順序2：モーターユニットを取付けます

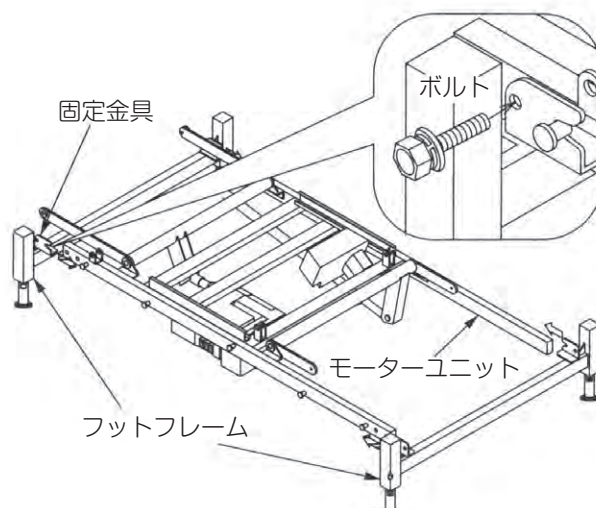


フットフレームに付いている固定金具のV字の部分をもーターユニットの側面から出ているピンに引っ掛け、固定金具の穴とモーターユニットの穴をそろえてボルトで固定します。(4カ所)

ここまで組み終えたら、プラグをコンセントに繋ぎ手元スイッチの全ての操作をチェックして下さい。この際に、異常がある場合は販売店に御連絡下さい。

注1：実際のモーターユニットには手元スイッチと電源コードが繋いでありますがこちらのイラストでは省略しています。取付けてあるヒモはこの時点でほどいて下さい。

注2：今後の組立作業は背を上げたままで行いますので操作チェックの後、背は下ろさないで下さい。

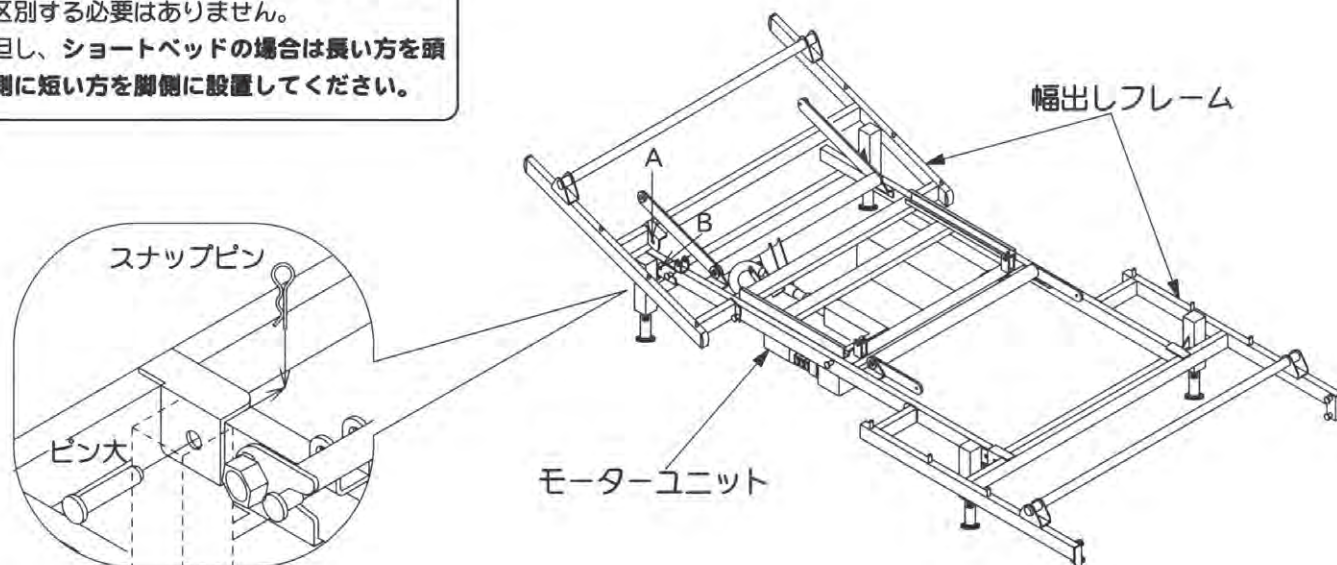


順序3：幅だしフレームを取付けます



モーターユニットの側面から出ているピンに幅だしフレームのV字の部分をはめ込みます次に、ゆっくり幅だしフレームを降ろし、A・Bの穴を合わせピン大を外側から差し込みスナップピンで固定します。（各2ヶ所）脚側も同じ要領で幅だしフレームを取り付けて下さい。

頭側・脚側の幅だしフレームは同型です。
 区別する必要はありません。
 但し、ショートベッドの場合は長い方を頭側に短い方を脚側に設置してください。



順序4：背・腰ボトムを取付けます



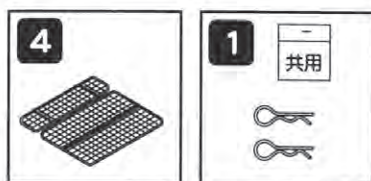
背スライドリンクステーを固定しているバンドは切らずに、スライドボトムに付いているベアリングをレールに乗せます。次にバンドを切り、背スライドリンクステーをモーターユニットに付いている背スライドステー受けに取り付けます。（2ヶ所）

背スライドリンクステーの取り付け方

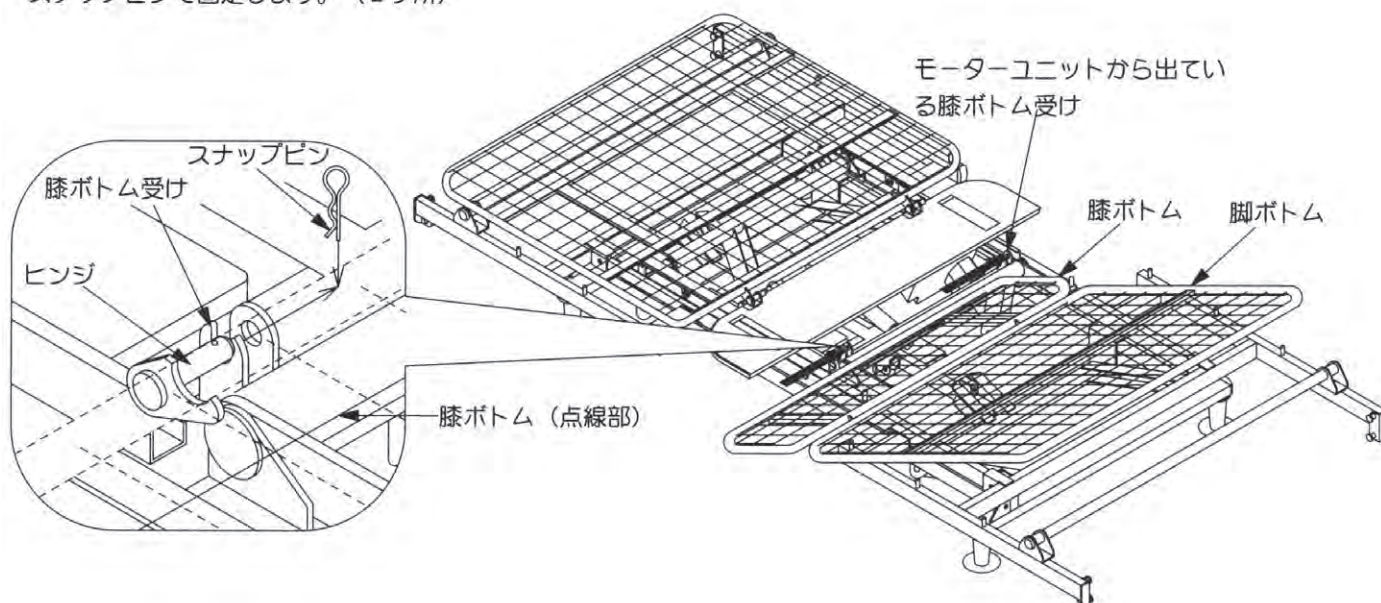
真横から見た図



順序5：膝・脚ボトムを取付けます



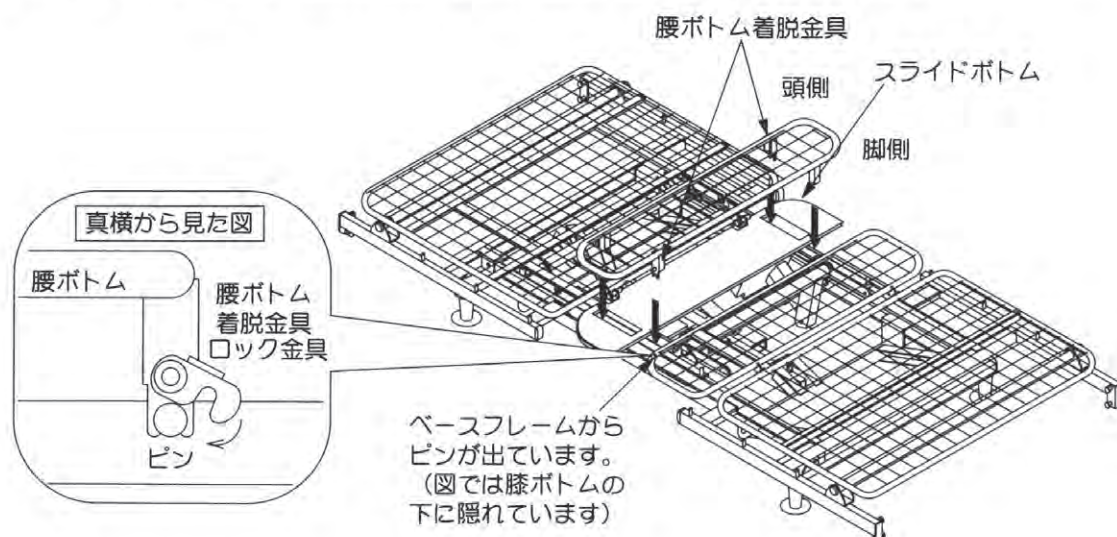
膝ボトムについているヒンジをモーターブロックから出ている膝ボトム受けに差し込み、スナップピンで固定します。（2ヶ所）



順序6：背・腰ボトムを取付けます



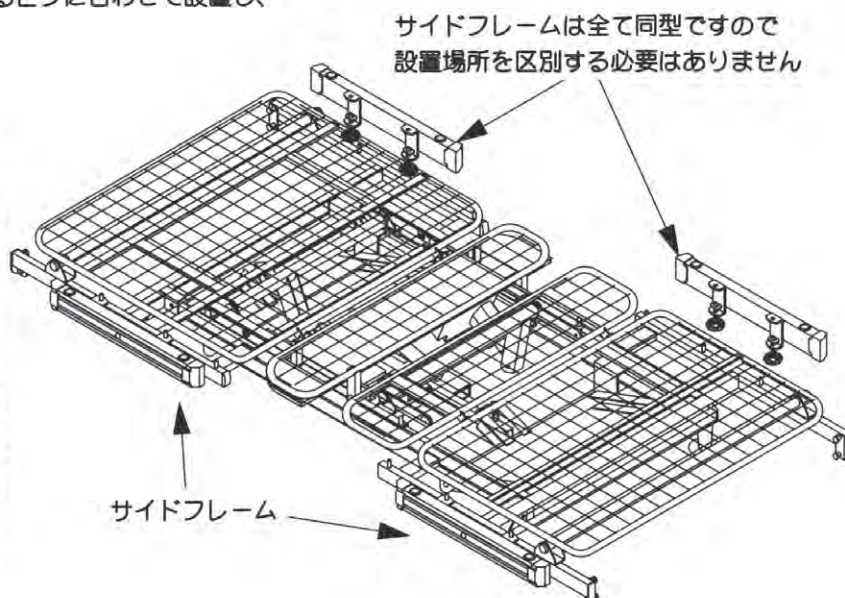
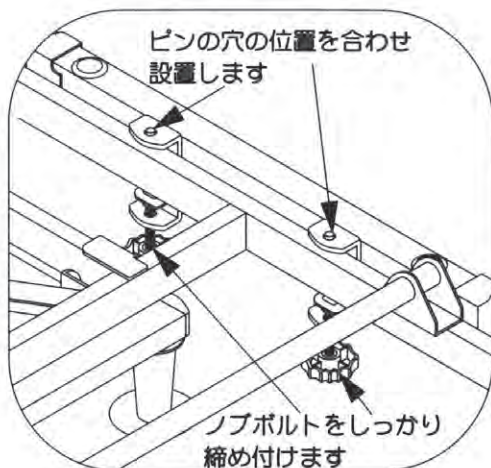
頭側に付いている金具はスライドボトムにある穴に通し、脚側にある金具はスライドボトムの外に外して設置して下さい。次に下図の様にベースフレームから出ているピンに腰ボトムロック金具でロックします。



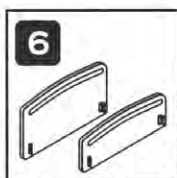
順序7：サイドフレームを取付けます



サイドフレームを幅だしフレームから出ているピンに合わせて設置し、
ノブボルトをしっかりと締めます。

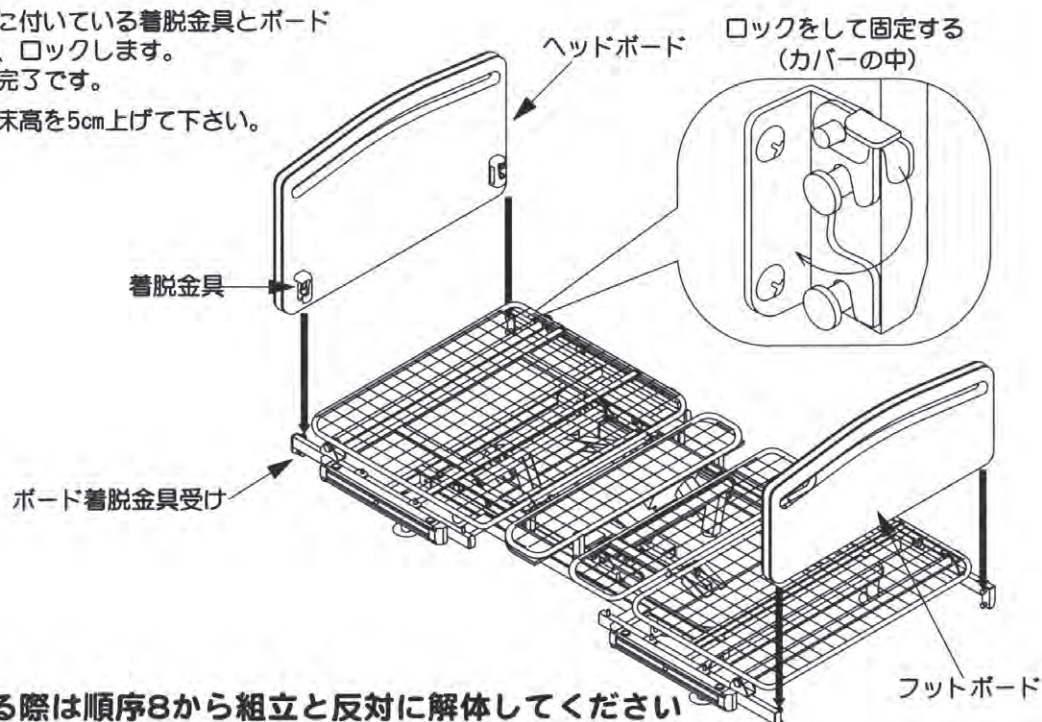


順序8：ヘッドフットボードを取付けます



ヘッド・フットボードに付いている着脱金具とボード
着脱金具受を取り付け、ロックします。
これでベッドの組立は完了です。

リフトを御利用の方は床高を5cm上げて下さい。



ベッドを解体する際は順序8から組立と反対に解体してください

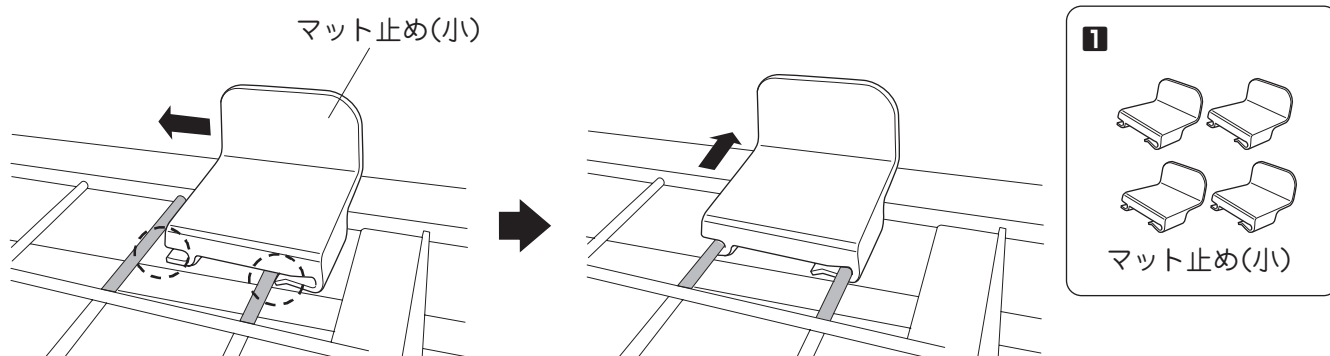
順序9：マット止め（小）を取付けます

- ① マット止め（小）を、下図マット止め（小）取り付け箇所の■部に取り付けてください。

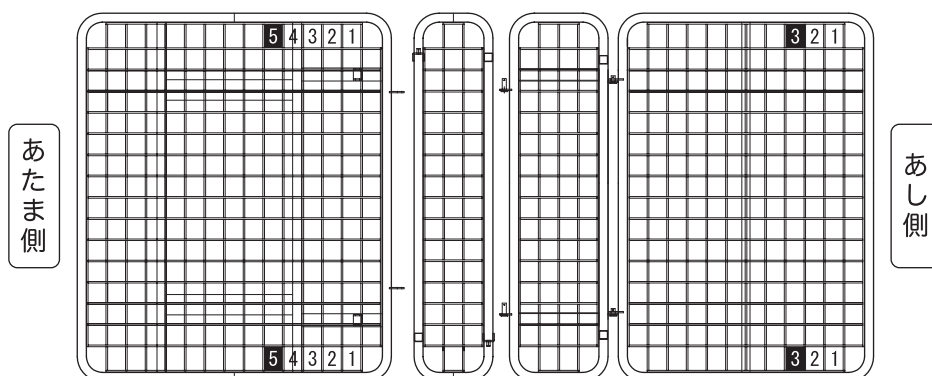


矢印方向にスライドさせて取り付けます。「カチッ」と音がするまではめ込んでください。

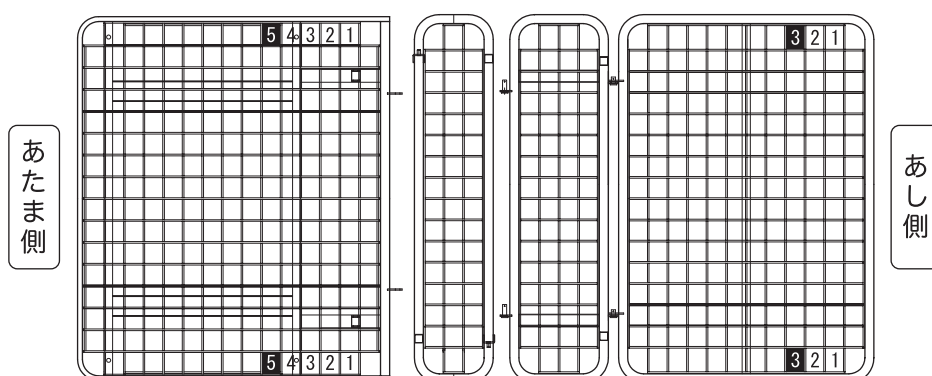
- ② マット止め（小）のツメの奥がメッシュに当たるまでスライドさせます。



【ニューリバティー・ベスティーシリーズベッドへの取付位置】

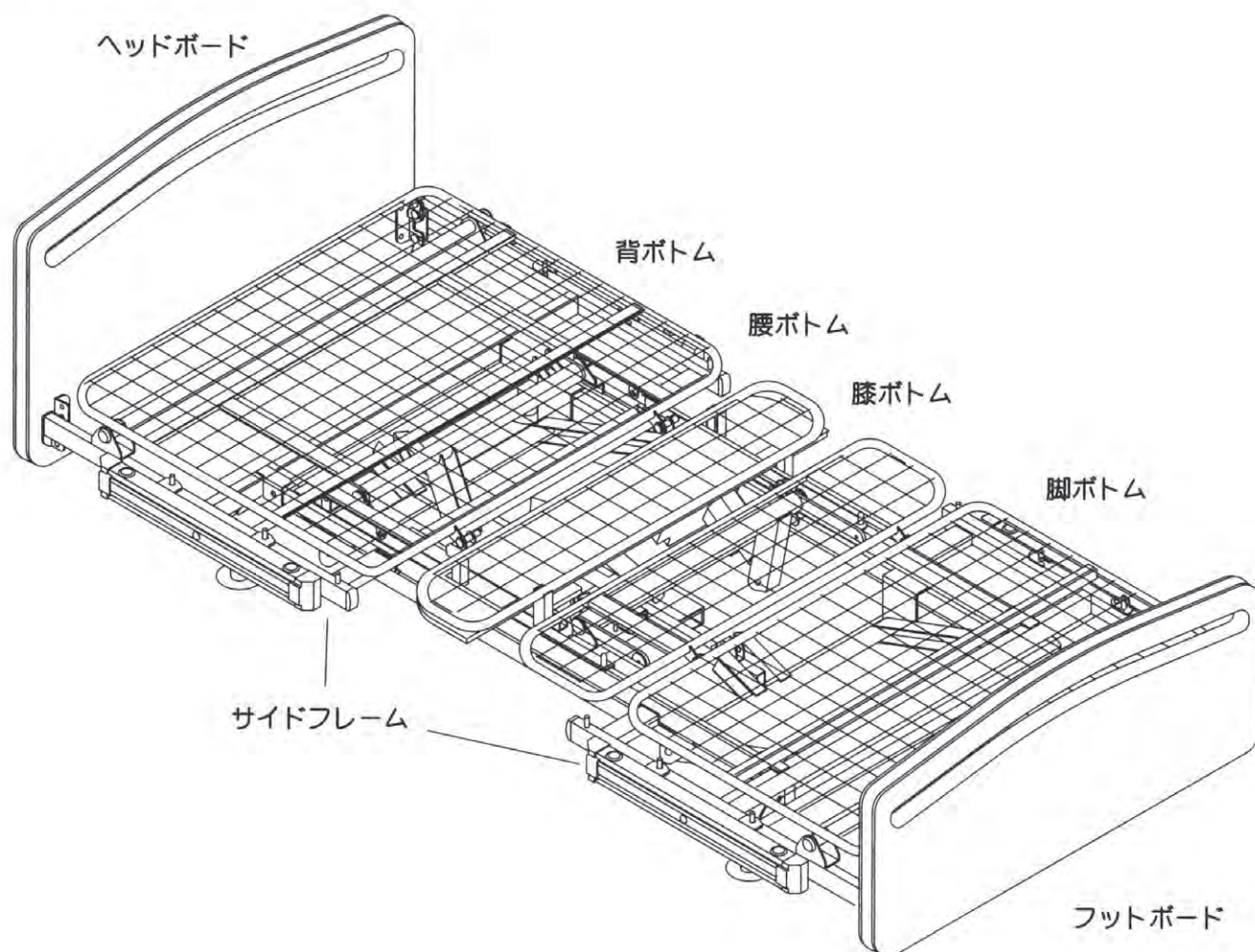


【彩シリーズベッドへの取付位置】



マット止め(小)取り付け箇所

各部の名称



本体仕様

		マット幅84	マット幅91			マット幅100	マット幅120
ベッド全長	ニューベスティ	2070	S:1870	R:2070	L:2270	2070	2070
	ニューリパティ	2060	S:1860	R:2060	L:2260	2060	2060
ベッド全幅		926	996			1086	1286
ベッド床高		300・320・340・360					
背上げ及び	1M	背・膝連動：背上げ…75° 膝上げ…20° 背・膝連動解除：背上げ…75° 膝上げ…0°					
	2M	背上げ…0～75° 膝上げ…0～40°					
ヘッド部高さ		636・656・676・696					
フット部高さ		526・546・566・586					
重量	ニューベスティ(1M2M)	70.6/72.0	S:71.6/73.0	R:72.7/74.1	L:75.4/76.8	74.6/76.0	84.8/86.2
	ニューリパティ(1M2M)	68.2/69.6	S:68.5/69.9	R:69.6/71.0	L:72.3/73.7	71.8/73.2	79.7/81.1
材質	木部	ベスティ	化粧板・ウレタン樹脂塗装仕上げ				
		リパティ	化粧板				
	モーターユニット	スチール製：抗菌粉体塗装仕上げ					
	ベースユニット						
	幅だしフレーム						
	ボトム						
モーター消費電力		150W～170W（モーター1台当たり）					

サイドレール・ベッド用グリップの取り付け 及び適合するマットレスについて

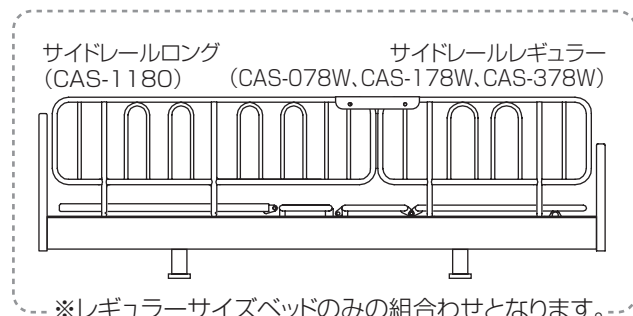
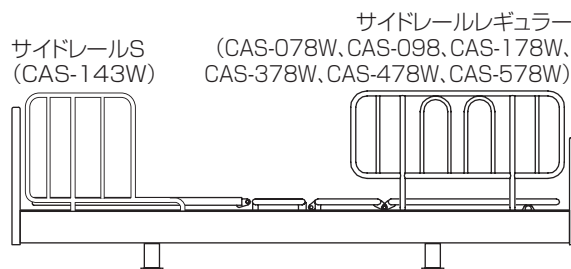
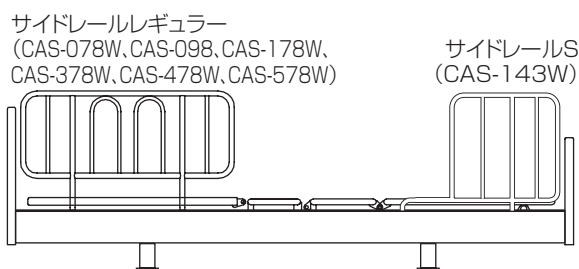
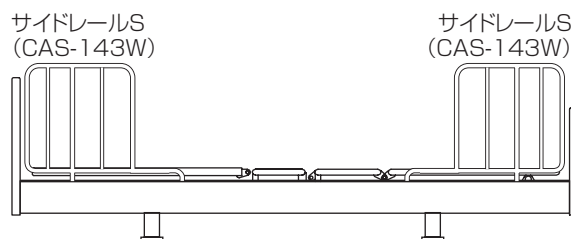
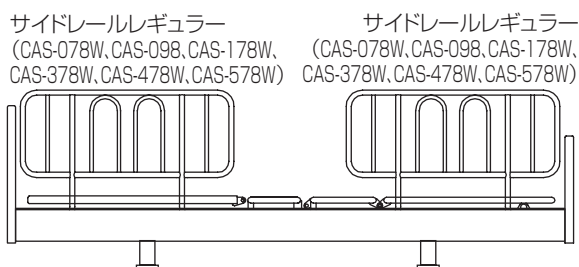
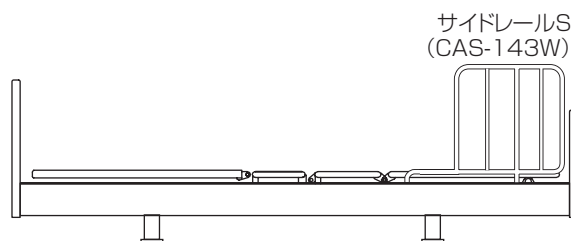
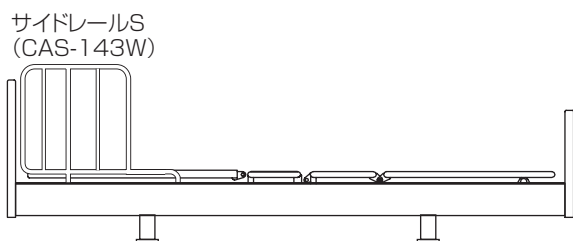
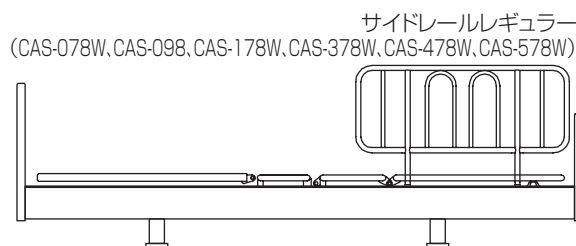
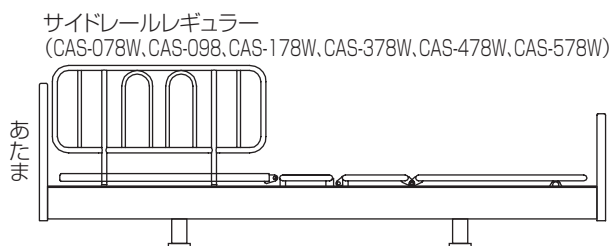
サイドレール、ベッド用グリップのベッドへの取付けは下記の図表を参照して、正しい組み合わせで、また、正しい方向に取り付けてください。

※サイドレール、ベッド用グリップはベッドのサイズに合わせてお選びください。

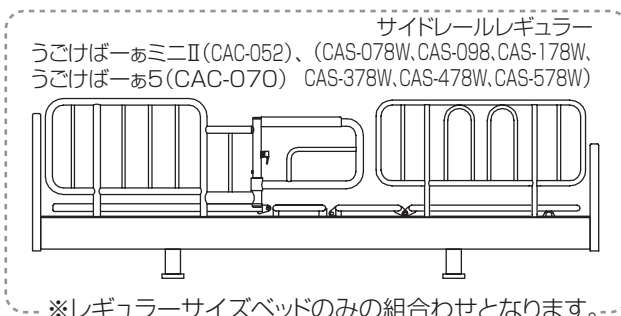
※サイドレールレギュラーのイラストは、CAS-078W になります。

〔レギュラー（ロング）サイズ〕ベッドの場合

（イラストはレギュラーサイズベッドに取り付けた場合です。
ロングサイズベッドへの取り付けはイラストと若干異なります。）

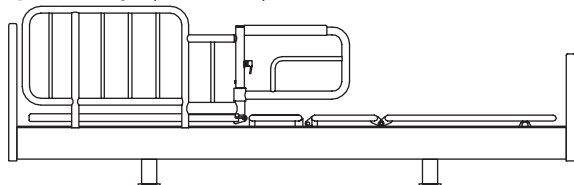


※レギュラーサイズベッドのみの組み合わせとなります。



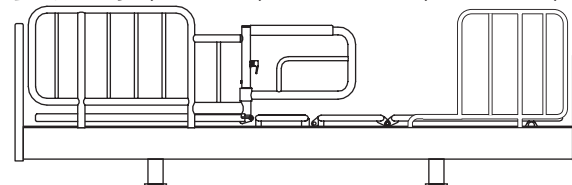
※レギュラーサイズベッドのみの組み合わせとなります。

うごけばーあミニⅡ(CAC-052)、
うごけばーあ5(CAC-070)



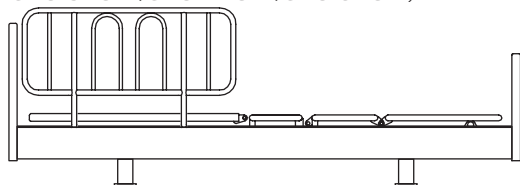
うごけばーあミニⅡ(CAC-052)、
うごけばーあ5(CAC-070)

サイドレールS
(CAS-143W)

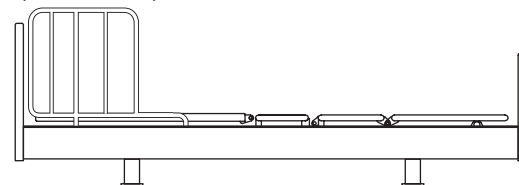


[ショートサイズ] ベッドの場合

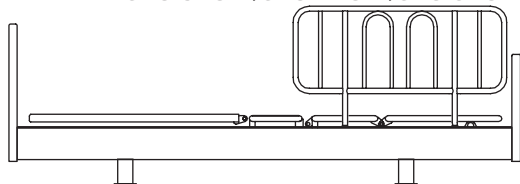
サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



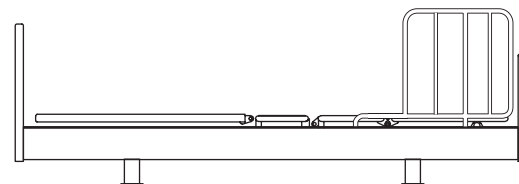
サイドレールS
(CAS-143W)



サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

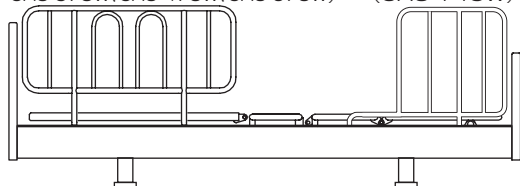


サイドレールS
(CAS-143W)



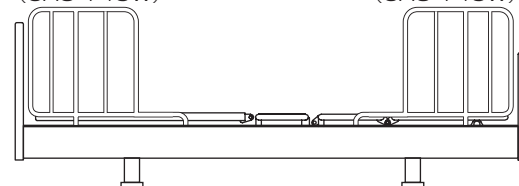
サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)

サイドレールS
(CAS-143W)

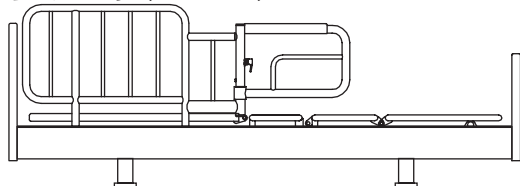


サイドレールS
(CAS-143W)

サイドレールS
(CAS-143W)

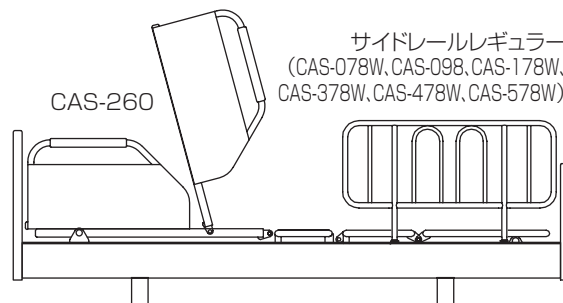
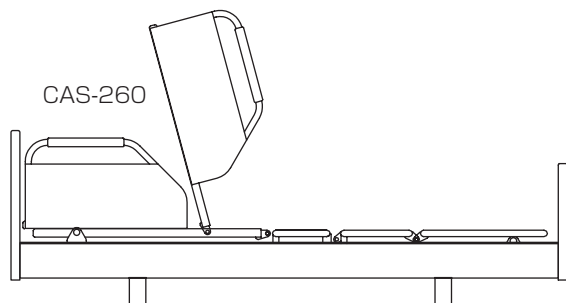


うごけばーあミニⅡ(CAC-052)、
うごけばーあ5(CAC-070)

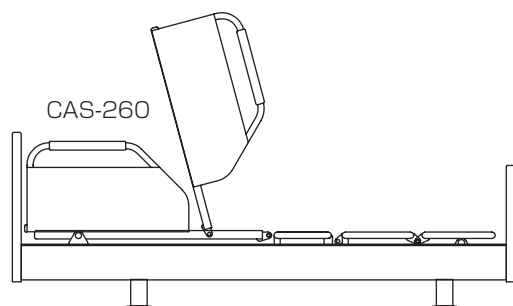


[彩] ベッドに固定型サイドレールをつけた場合

[レギュラーサイズ]ベッドの場合



[ショートサイズ]ベッドの場合



⚠ 警 告

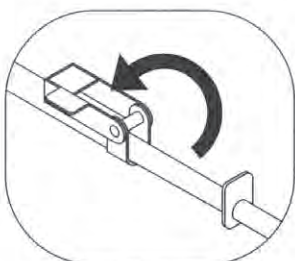
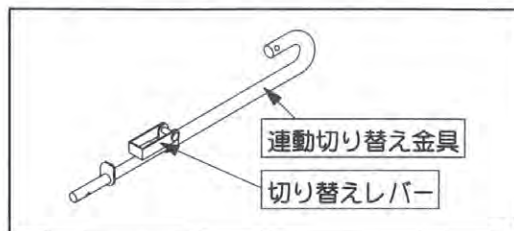
- ・ オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。
- ・ 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ・ サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合はベッド用グリップをお使いください。

■ マットレス

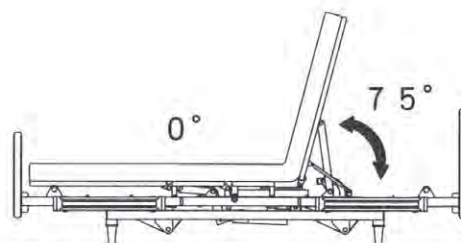
ベッドサイズ	マットレスサイズ (mm)		
84 幅	長さ 1960mm	× 幅 840mm	× 厚さ 150mm 以下
91 幅レギュラー	長さ 1960mm	× 幅 910mm	× 厚さ 150mm 以下
91 幅ショート	長さ 1760mm	× 幅 910mm	× 厚さ 150mm 以下
91 幅ロング	長さ 2100mm	× 幅 910mm	× 厚さ 150mm 以下
100 幅	長さ 1960mm	× 幅 1000mm	× 厚さ 150mm 以下
120 幅	長さ 1960mm	× 幅 1200mm	× 厚さ 150mm 以下

連動切替金具について

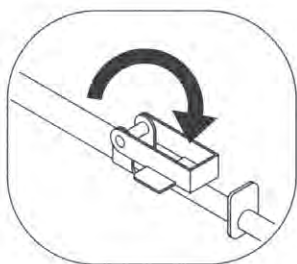
『1モーターベッド』のみ、手でレバーを切替えることで膝と背を簡単に連動させることができます。その際は必ず背中が完全に降りている事を確認して下さい。



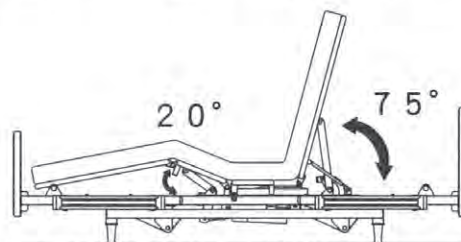
レバーがこちらに倒れている時は背・膝連動は解除されています。



2モーターの背上げ及 R膝上げの最大角度は背が0°～75°、膝が0°～20°です。



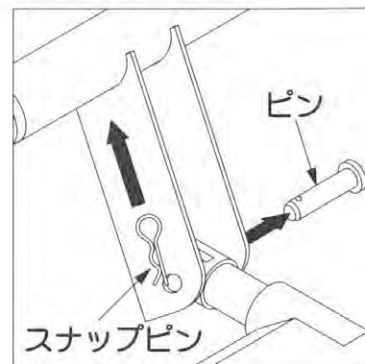
レバーがこちらに倒れている時は背・膝が連動します。



故障及び停電時の処置について

万が一背や脚を上げたままの状態ですべての電気が止まり、故障した場合、以下の方法で下げることが出来ます。

- ① 下げたい方のボトムを上を持ち上げて下さい。
(ボトムは上方向には自由に動きます)
- ② 背上げ機構に図のような部分があります。
- ③ スナップピンを引き抜きピンを外し、シャフトを取外します。
- ④ この状態でボトムを下げると平らになります。
ピンを外した状態でモーターのシャフトを回転させると長さを変える事も出来ます。
- ⑤ 停電・故障が回復したら、ピンを元通りに取付けて下さい。



保守点検について

ベッドを安全に御利用頂くために、組付けピンやロックか金具がゆるんでいないかを定期的に点検を行って下さい。

特にサイドフレームを固定するノブがゆるんでいると、サイドフレームが落下して怪我をする恐れがあります。

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に以下の項目をチェックして下さい。それでも改善されない場合はベッドの使用を止めて販売店に修理を依頼して下さい。

手元スイッチを押しても動かない

□チェック1

電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応：電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

□チェック2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：手元スイッチのコネクタを差し込んで下さい。

□チェック3

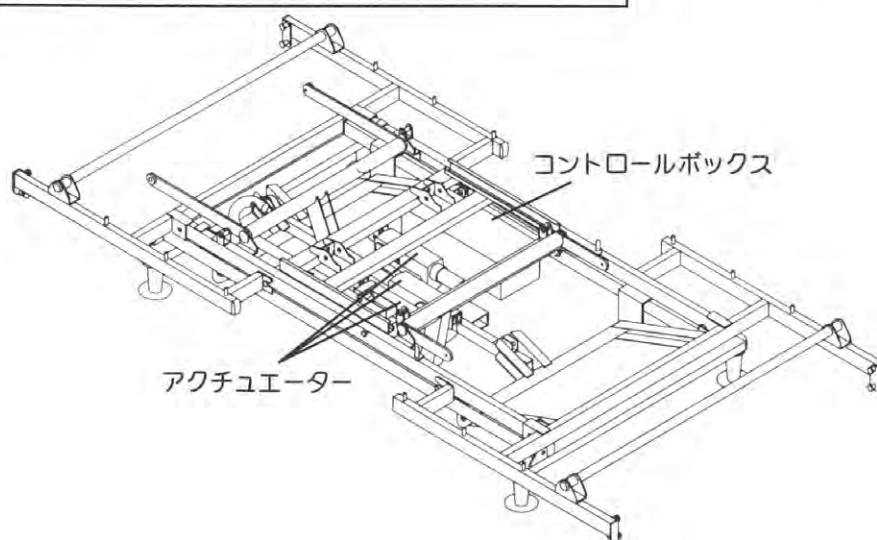
アクチュエーターのケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応：アクチュエーターのケーブルを差し込んでください。

□チェック4

連続使用でアクチュエーターが熱くなっていませんか？

対応：頻繁な使用でアクチュエーターやコントロールボックスが熱くなると手元スイッチのランプが点滅します。過熱防止回路が働いているため故障ではありません。ランプが点灯するまでお待ちください。



ランドルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421
TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430

青森サテライト 〒030-0921 青森県青森市原別8-9-1
TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534

八戸サテライト 〒039-1164 青森県八戸市下長8-10-8
TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213

秋田サテライト 〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反170-81
TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862

岩手営業所 〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-2-20
TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631

仙台営業所 〒984-0821 宮城県仙台市若林区中倉3-17-54
TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287

埼玉営業所 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421
TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134

八王子サテライト 〒193-0824 東京都八王子市長房町22-26
TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167

東京営業所 〒120-0005 東京都足立区綾瀬1-20-18
TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081

千葉サテライト 〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園2-9-21
RTサンライト101号室
TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754

横浜サテライト 〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-30-6
TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053

名古屋サテライト 〒485-0059 愛知県小牧市小木東1-12
TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830

大阪営業所 〒578-0981 大阪府東大阪市島之内2-14-27
TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700

岡山サテライト 〒700-0975 岡山県岡山市北区今8-3-35
TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066

株式会社ランドルコーポレーション本社

〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
営 業 部 : TEL.048-475-3662